

タラの芽・農電促成栽培

■ 冬場のタラの芽・促成栽培に農電製品は欠かせません。

- ✓ 農電ケーブル→タラの芽促成栽培ベットの空中加温。
- ✓ 農電サーモ→栽培ベットの空中温度自動管理。

■ 農電タラの芽促成栽培の特長。

- ✓ 均一で揃ったタラの芽が収穫できます。
高収益を得られます。
- ✓ 低コストです！。
設備費用もランニングコストも安価です。

■ 農電タラの芽促成栽培の注意。

- ✓ 空中配線の為、取り扱い説明書を良く読み
施工してください。



農電サーモ感温部
トンネル内の温度(気温)を
自動管理します。

園芸ケーブル
トンネル内を簡単に
加温できます。



冬場のタラの芽促成栽培には農電ケーブルが欠かせません。
1坪あたり150W～200Wの電力でトンネル内気温を18℃程度まで
加温でき均一で揃ったタラの芽が簡単に栽培できます。



参考

タラの芽・農電促成床の作り方

■農電タラの芽ベッドのメリット

- ✓ 均一で揃ったタラの芽が収穫できます。
高収益を得られます。
- ✓ 低コストです！。
設備費用もランニングコストも安価です。

■1坪あたりの必要電力

- ✓ **150～200W**

■トンネル内気温

- ✓ 日中15～20℃
- ✓ 夜8～18℃

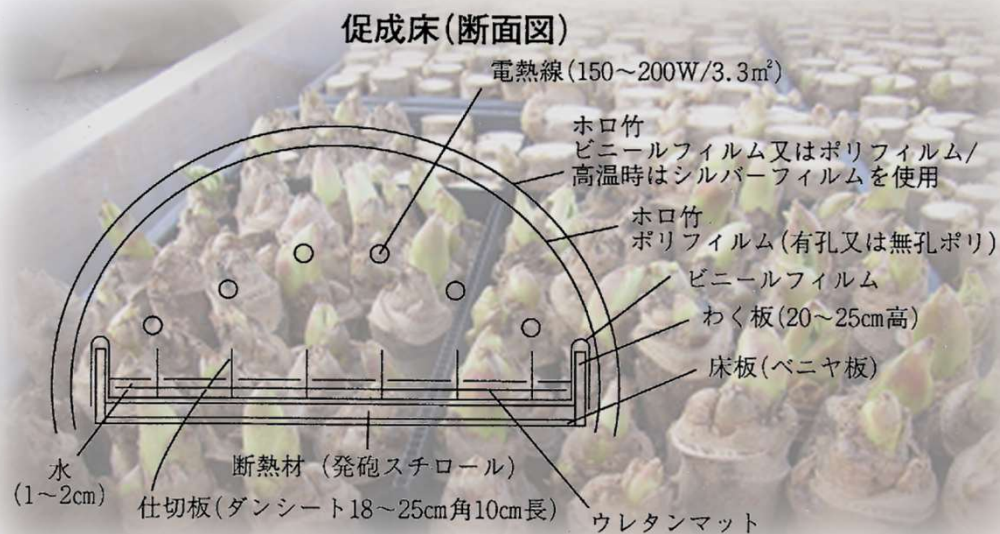
■2坪～3坪の農電タラの芽ベッドに必要な農電資材

- ✓ 電源が三相200Vの場合

| | | |
|---------|--------|-----|
| 園芸ケーブル | 3-530 | ×1組 |
| 農電電子サーモ | ND-620 | ×1台 |

- ✓ 電源が単相200Vの場合

| | | |
|---------|--------|-----|
| 園芸ケーブル | 2-530P | ×1組 |
| 農電電子サーモ | ND-620 | ×1台 |

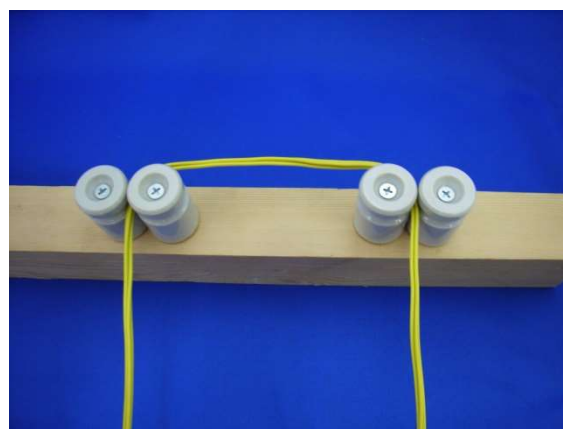
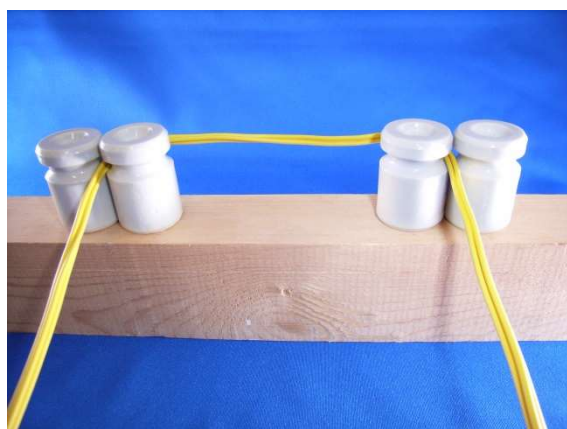
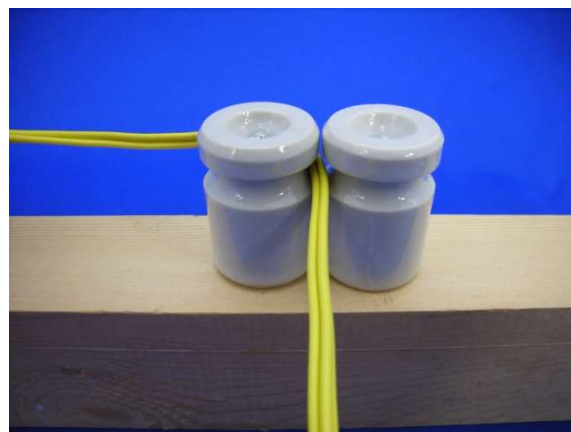


空中配線時の注意事項

■ 配線方法








- ✓ 必ず絶縁性・難燃性・耐水性のある「ガイシ」を使用してください。
- ✓ 支持間隔は1m以下・線間隔は3cm以上で配線してください。
- ✓ 周囲温度50℃以下で使用ください

ガイシを使用した配線例



使用上のご注意

必ずお守りください

-  ■使用電圧（V）を間違えない。
使用前に必ず製品表示の電圧と使用電圧を確認して下さい。間違えると火災事故になります。
-  ■切ったり、つないだりしない。
園芸ケーブルは規格ごとに長さが決まっています。
配線の都合により「切ったり」「つないだり」とすると火災事故になります。
-  ■空中配線にはガイシを使用する。
空中配線する場合は、必ずガイシを使用して配線してください。発熱線が可燃物や針金など鉄を含む金属物（ビニール被覆含む）と接触していると、火災事故になります。
-  ■発熱線と発熱線が接触しない。
発熱線と発熱線が接触していると火災事故になります。常時3cm以上離れるように配線してください。特に把のまま通電すると、数分で発火します。
-  ■可燃物や造営物と発熱線を接触させない。
可燃物や造営物から常時3cm以上離れるように配線してください。火災事故になります。
-  ■キンク（よじれ）はほぐして使い、被覆を損傷しない。
配線時にキンクができれば、ていねいにほぐして使って下さい。
キンク状で使うと断線する場合があります。又被覆を傷つけると、漏電し火災事故になります。
-  ■漏電ブレーカの設置義務。
電気設備には漏電ブレーカの設置が義務付けられています。必ず漏電ブレーカを設置してください。

